

# 医療・介護充実させよう

## いのちを守る国民集会に3000人

社会保障制度改革や消費税増税、環太平洋連携協定（TPP）交渉参加を許さず、いのちや人権が大切にされる医療や介護の充実を求めて24日、「いのちまもる国民集会」が開かれました。

東京・日比谷野外音楽堂



「いのちと人権が大切にされる社会保障の充実を」と厚生労働省の建物に向かって「ぶしをおげる」「いのちまもる10・24国民集会」の参加者。24日、東京・日比谷野外音楽堂

冷たい雨が降りしきる中、会場の東京・日比谷野外音楽堂には全国から3000人余が参加。ゲストで予備校講師・林修さんの決め言葉がコールに取り入れられ「医師、看護師を増やすのは？」「今でしょ！」「患者、利用者負担を減らすのは？」「今でしょ！」と元気にパレードしました。

つやるの？ 今でしょ！と訴えました。現場から4人がリレートーク。日本医師会、日本歯科医師会、JA新潟中央会など多数の激励メッセージが寄せられました。

医療・介護の営利化反対や、医師・看護師・介護職員等の大幅増などを国に求めるアピールを採択しました。

日本共産党の田村智子、倉林明子両参院議員が参加し、田村氏があいさつ。国会要請行動には高橋ちづ子衆院議員が応対しました。



思いともにするのは「今でしょ」

予備校講師 林修さんがエール

大きな拍手と「よし！」のかけ声で登壇した予備校講師・林修さん。妻は産婦人科医。月の当直が8日から12日もあるといいます。「同級生にも医師が多い。話を聞いて

て、人の命を預かるのは本当に大変で、責任の重さが僕とは全然違うと思った」と林さん。もっといい国にするために自分ができる仕事は、他人の意見を受け止め、自分で考えることができる人間を一人でも多く育てることだと強調。「皆さんとの思いをいっしょに、ともにするか？ 今でしょ！」としめくくり、大きな拍手を浴びました。